

「桐蔭」で、力いっぱいチャレンジ!

桐蔭中学校は、今年で開校16年目を迎え、中高一貫教育校としてこれまで数々の特色ある教育活動を展開し、実績を積み重ねてきました。また、接続する桐蔭高等学校は、明治12年に設立された旧制和歌山中学校の流れを受け継ぎ、和歌山城を望む「吹上」の地で、「文武両道」を校訓に掲げて発展を遂げ、卒業生は社会のリーダーとして多方面で活躍しています。

こうした環境のもと、桐蔭中学生は、勉学はもちろんのこと、部活動や学校行事、生徒会活動等、あらゆることに惜しみなく力を注ぎ、バランスのとれた力を育みながら日々の学校生活を充実させています。また、その活動は主体性に富み、若いパワーに満ちあふれています。

さて、皆さん、ここ桐蔭中学校で自分の夢に向かって力いっぱいチャレンジしてみませんか。とりわけ、現代のように先行きが不透明で、社会が大きく変化する時代には、改めて「自らの生き方」について深く問いかけ、「これからの人生をいかに切り拓いていくか」を考えることが大切になります。自由闊達な校風と素晴らしい学習環境のもと、桐蔭生としてさまざまな学習に主体的に取り組み、高い志を持ちながら互いに切磋琢磨しようではありませんか。

ぜひ、皆さんと本校でお会いできることを楽しみにしています。

和歌山県立桐蔭中学校 校長 笹井晋吾



桐蔭中学生が大きく成長する桐蔭中高一貫教育の仕組み

「私たちはなぜ学ぶのか?」「学ぶことの本質的な楽しさとは?」「今学んでいることは将来どのように役に立つのか?」これらの問いに対し、桐蔭中学校でのキャリア教育や学校独自教科「桐蔭キュリオ」、質・量ともに充実した教科の学習等を通して、桐蔭中学生は真正面から向き合い、考えを深めます。このようにして、桐蔭中学校の特色ある学びで得た専門的な知識・技能や興味関心は、その人の「学問的個性の芽」といえます。それを、発芽させ、大きく成長させる仕組みが、桐蔭の中高一貫教育です。

1 知的好奇心を高める桐蔭中学校の学び

- ※教科の学習が質・量ともに充実(深く学ぶ)
- ※自らの在り方・生き方に迫るキャリア教育
- ※桐蔭中学校独自の教科「桐蔭キュリオ」
- ※本物に触れ体験する学習

2 桐蔭高校「新たな普通科」の教育システム

- ※文系・理系の両教科の質の高い学習と、芸術や体育・文化面での様々な教育活動をつなげ、総合的教養を高める
- ※2年次以降の進路希望や習熟度に応じた学習集団編成

3 優れた能力を有する仲間との切磋琢磨

- ※勉強は無論、スポーツや文化面において優れた能力を有する生徒が集うのが桐蔭
- ※その仲間とともに、勉強・部活動・行事に全力を傾けることによる、人間的な成長

4 桐蔭中学校出身生は桐蔭を熟知し、高校生活を堂々と過ごす

- ※桐蔭祭をはじめとする学校行事の雰囲気慣れており、リーダーとして活躍
- ※グループ学習、発表などのスキルが高く、授業で活躍
- ※高校の部活動や生徒会活動では中心となって活躍

